

日中国交正常化40周年に際する 日中「戦略的互惠関係」の一層の深化に向けた 6つのイニシアティブ（ファクト・シート）

2011年12月25日の日中首脳会談（於：北京）
において野田内閣総理大臣から発表。

（注）日中間で合意された文書ではなく、日本側の責任で作成したもの。

1 政治的相互信頼の増進

～ハイレベル交流、北朝鮮情勢に関する緊密な意思疎通と適切な対応 等

2 東シナ海を「平和・協力・友好の海」とするための協力の推進

～「日中高級事務レベル海洋協議」の立上げ、
日中海上捜索・救助（SAR）協定の原則合意 等

3 東日本大震災を契機とした日中協力の推進

～「元気な日本」、日本産食品等の輸入規制緩和 等

4 互恵的経済関係のグレードアップ

～金融、環境・省エネ、経済連携 等

5 両国国民間の相互理解の増進

～40周年記念事業、青少年交流、トキ、パンダ 等

6 地域・グローバルな課題に関する対話・協力の強化

～北朝鮮情勢に関する緊密な意思疎通と適切な対応、経済連携、
金融 等

日中国交正常化40周年に際する
日中「戦略的互惠関係」の一層の深化に向けた
6つのイニシアティブ

<イニシアティブ1> 政治的相互信頼の増進

- **ハイレベル往来等の活発化**
 - 2012年中国首脳の来日実現に向け調整。
 - 2012年に中国において行われる日中韓サミットへの野田総理の出席を検討。
 - 2012年早期の第4回日中ハイレベル経済対話の東京での開催に向け調整。
 - 2012年に行われる各種国際会議での日中ハイレベル間の会談を積極的に実施。
 - 安全保障分野での交流でも一致。
- **北朝鮮情勢に関する緊密な意思疎通と適切な対応**
 - 金正日国防委員長長の死去という新たな事態の下、朝鮮半島の平和と安定の確保は日中両国の共通利益であることを確認。
 - 日中間で緊密に意思疎通を行い、冷静かつ適切に対応していくことの重要性で一致。
 - 六者会合における取組に関連し、今般の事態に関係国が連携して対応することで、いずれ核問題等の解決につなげていく環境を作ることが重要であり、そのために日中間で協力。
 - 拉致問題について、日本側から、日本にとって最重要課題の1つであり、解決に向けた中国の理解と協力を要請。また、拉致被害者を含む邦人の安全の観点から、中国の協力を要請。中国側から、日朝関係の改善を支持し、日朝双方の対話と協議を通じ拉致問題を含む関連の問題が適切に解決されることを希望。

日中国交正常化40周年に際する
日中「戦略的互惠関係」の一層の深化に向けた
6つのイニシアティブ

＜イニシアティブ2＞
東シナ海を「平和・協力・友好の海」と
するための協力の推進

- 海洋に関する重層的な危機管理メカニズムの重層的な構築が必要との両国首脳間の合意の下、両国政府海洋関係機関間の対話と交流のプラットフォームとして「日中高級事務レベル海洋協議」を新たに立上げ。
- 日中海上捜索・救助（SAR）協定に原則合意。
- 東シナ海資源開発に関する国際約束締結交渉の早期再開を強く働きかけ。

日中国交正常化40周年に際する
日中「戦略的互惠関係」の一層の深化に向けた
6つのイニシアティブ

＜イニシアティブ3＞

東日本大震災を契機とした日中協力の推進

- 震災からの復興に向けて力強く歩む日本の姿を中国国民に紹介する「元気な日本」キャンペーンを、2011年10月の広州交易会・日本ブースを皮切りに、中国各地において展開中。2012年2月から3月にかけて、北京、上海及び香港において大規模な展示会を実施。
- 2月の北京での「元気な日本」展示会では、日中国交正常化40周年記念事業開幕式も併せて行い、日本側から直嶋正行・総理特使が出席。
- 日本産食品等の輸入規制の緩和に向けて日中間で真摯な協議を継続。
- 渡航自粛勧告の解除について、日本側の要請を踏まえて、中国側は、科学的レビューに基づき真剣に検討。
- 2011年5月の日中首脳会談で中国側が派遣を表明した復興支援・貿易投資視察団を早期に日本に派遣・受入れることで調整。



日中国交正常化40周年に際する
日中「戦略的互惠関係」の一層の深化に向けた
6つのイニシアティブ

<イニシアティブ4> 互惠的経済関係のグレードアップ

- 日中両国の金融市場の発展に向けた相互協力の強化として、①日中間の貿易等での両国通貨の利用促進、②円・人民元直接交換市場の発展支援、③両国通貨建て債券市場の発展支援、④海外市場での両国通貨建て金融商品・サービスの民間部門による発展意欲、⑤協力促進のための合同作業部会の設置で合意。
- 国際協力銀行と中国輸出入銀行の主導により、日中省エネ・環境ファンド（日本の環境技術を活用しつつ、中国国内での省エネ・環境保全事業へ投資することを目的、総額約120億円）を設立。
- 日中省エネ・環境総合フォーラム等を通じ、新エネルギーやスマートコミュニティ等、省エネ・環境分野での協力を推進。
- 曹妃甸プロジェクト及び連雲港プロジェクトについては、双方は、それぞれの状況に応じて適切に協力していくことで一致。
- 日中社会保障協定の早期締結に向けて協議を加速化。

（次ページに続く）

日中国交正常化40周年に際する
日中「戦略的互惠関係」の一層の深化に向けた
6つのイニシアティブ

<イニシアティブ4> 互惠的経済関係のグレードアップ

(続き)

- 日中間のオープンスカイの実現や羽田と中国を結ぶ航空路線の増便等に向け、協議を加速化。
- 新しいルートの開拓を含め、双方向の観光交流を推進。
- レアアースの安定的供給問題について、日中間の話し合いを継続。
- 日中韓投資協定交渉の早期の実質合意、それを踏まえて、2012年早い時期に日中韓FTAの交渉開始を目指すことで一致。
- 知的財産分野での協力を強化。
- コメなどの日本産農林水産物・食品の輸出促進や農業分野での協力を働きかけ。

日中国交正常化40周年に際する
日中「戦略的互惠関係」の一層の深化に向けた
6つのイニシアティブ

＜イニシアティブ5＞ 両国国民間の相互理解の増進

- 日中国交正常化40周年に当たる2012年を「日中国民交流友好年～新たな出会い、心の絆～」として、全面的な国民交流を推進。
- 日中国交正常化40周年記念事業として、2012年2月に北京において開幕式（兼「元気な日本」展示会）、同年9月に記念レセプション等を実施。また、日本側実行委員会の下で、官民双方による各種記念行事を積極的に実施。
- 2012年、日中双方であわせて5000名規模の青少年交流を実施。
- 映画、テレビ、アニメ等のコンテンツ分野での交流・協力を促進。
- 「キャンパス・アジア」構想の拡大に向け、新たな「キャンパス・アジア・スカラシップ」を創設するとともに推進体制の充実を図り、中国及び韓国との学生交流を一層促進。
- トキとパンダについて、中国側は、日本側への提供に向け積極的に検討。



日中国交正常化40周年に際する
日中「戦略的互惠関係」の一層の深化に向けた
6つのイニシアティブ

＜イニシアティブ6＞
地域・グローバルな課題に関する
対話・協力の強化

- 北朝鮮情勢に関する緊密な意思疎通と適切な対応
 - 金正日国防委員長の死去という新たな事態の下、朝鮮半島の平和と安定の確保は日中両国の共通利益であることを確認。
 - 日中間で緊密に意思疎通を行い、冷静かつ適切に対応していくことの重要性で一致。
 - 六者会合における取組に関連し、今般の事態に関係国が連携して対応することで、いずれ核問題等の解決につなげていく環境を作ることが重要であり、そのために日中間で協力。
 - 拉致問題について、日本側から、日本にとって最重要課題の1つであり、解決に向けた中国の理解と協力を要請。また、拉致被害者を含む邦人の安全の観点から、中国の協力を要請。中国側から、日朝関係の改善を支持し、日朝双方の対話と協議を通じ拉致問題を含む関連の問題が適切に解決されることを希望。
- 日中韓やASEANを含んだ経済連携の枠組み作りへの協力。
- チェンマイ・イニシアティブにおける危機対応機能の強化及び危機予防機能の導入など、ASEAN+3で進められている金融協力の強化に向けた取組みを加速することについて、日中両国で協力。